

協 議 会 議 事 録				
会議名	平成 24 年度 第 3 回江田島市公共交通協議会			
日 時	平成 25 年 1 月 28 日 (月) 14:00~15:30			
場 所	江田島市役所 2 階会議室			
出席者	県立広島大学	名誉教授	の はら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教 授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役社長	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	○
	広島県旅客船協会	会 長	に った いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	×
	広島県タクシー協会 江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ 連合会	会 長	なかもと のぶこ 中元 信子	○
	江田島市社会福祉協議会	会 長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合会	会 長	おかだ れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会 長	なかしま まさる 中島 勝	○
	中国運輸局海事振興 部旅客課	課 長	おかざき えいじ 岡崎 英治	○
	中国運輸局広島運輸 支局	首席運輸企画専 門官	やざわ しょうじ 八澤 昭二	○
	広島県地域政策局 地域政策総務課	課 長	やたがい ひでゆき 八谷 秀幸	代理出席 あくたがわ まさひろ 芥川 雅洋
	江田島警察署	地域交通課長	ひら のりたか 平 徳隆	○
	市議会交通問題調査 特別委員会	委員長	と ち やすのり 登地 靖徳	○
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
江田島市	総務部長	ど て さんせい 土手 三生	○	
江田島市	土木建築部長	いしい かずお 石井 和夫	○	

1 開 会	
事 務 局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
3 議長の選任について	
事 務 局	野原委員を議長に選任
4 協 議	
(1) 陸上交通アンケート結果等について	
事 務 局	－資料 1 により説明－
議 長	<p>事務局から説明があった資料 1 について、皆様方でご意見、ご感想でも結構なので、あればお聞かせ願いたい。</p> <p>地域的に見ると、かなりバラつきがあるし、感想を書いておられる方々の年齢や性別の違いもある。そういうことも踏まえて、ご意見があればお願いしたい。</p>
委 員	<p>この問題は全国的な問題でもあるし、特に広島県においても大変過疎化された地域もあり、新聞紙上にも掲載されている状況である。それにこの江田島市も、島しょ部として過疎化されて、住民にもいろんな面で負担がかかっている。</p> <p>私が思うには、やはり地域は、住民があつての地域だと思うので、はっきり言ってこの問題は、住んでいる人と一緒に考えていかなければいけない。たまたま私達が協議会の委員になっているのだが、やはり住民あつての江田島市であるので、もう少し住民に公表して意見を聞いてもらいたいと思う。</p>
議 長	<p>このアンケートの結果を住民の方にも公表し、情報を共有して、そしてこの抱えている問題について様々なご意見を住民から承りたいので、公表してもらいたいという要望であった。</p>
事 務 局	<p>協議会の資料は毎回、市のホームページへ載せており、今回のアンケート結果についても載せさせてもらう。パソコンを利用できない方もいらっしゃると思うので、広報紙を通じて、詳しくはできないかもしれないが、結果の報告をさせてもらいたい。また、地域の方へまわり、意見をお聞きする場を設けたいと思っている。</p>
委 員	<p>このアンケートは良くできていると思う。その中で 76 ページの沖美町のところがあるが、そのポイントとして多いのが、①の運行便数を増便してほしいというところと、⑥の栈橋での船舶との乗り継ぎ、この辺りが数字が高いところ。船とバスの会社が違うので連絡が取りにくい面があるはと思うが、ダイヤの改正等については良く打ち合わ</p>

	<p>せをしてもらい、待ち時間が無いように設定してもらいたい。</p> <p>増便等についても、乗る人の数字もあるのだが、可能な限りで増やしてもらえれば、皆さん喜ぶのではないかと思う。</p>
議長	<p>できるだけダイヤ等の見直しについては、十分に住民の便宜を図って考えてもらいたいということである。他に何かないか。</p>
委員	<p>アンケート結果の回答率が 32.6%ということで、2 千世帯に対して 652 世帯分の結果ということである。全体の中身を見ればどこかに出ているのかもしれないのだが、この 32.6%の回答が、全体を表すのに妥当な数字なのか、私自身もよく分からないのでお聞きしたい。</p> <p>それと、32.6%の 4 町の地域別比率というか、回答世帯数の内訳が分かれば、地域別の状況が見えてくるかなと思う。もうちょっと詳しく見れば分かるのかもしれないが。そういった点を補足していただけるのであればお願いしたい。</p>
議長	<p>事務局に、回収率 32.6%という割合であるので、その点についての評価という点を含めて、説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>回収率という点で、どれだけのサンプル数を取れるかということが統計学上大変重要だということだが、私が知るところでは、江田島市の 3 万人くらいの規模で信憑性の高いデータを取ろうとすると、大体 400 から 500 サンプルくらいのデータの抽出が必要であると聞いている。そういった意味では今回 652 世帯分のデータが集まっているので、ある程度は信用のおける調査結果ではないかと考えている。</p> <p>地域別についてはどの地域も 500 サンプルずつやっているもので、それほど大きな地域差は出ていないと思われる。</p>
委員	<p>どこかの町が回んで、どこかの町が突出しているということではなくて、この 9 ページの表で各 1/4 ずつなっているので、そういう理解で良いか。</p>
議長	<p>若干江田島町が多いという感じではあるが、全般的には大差がないという感じである。男女で見ると女性がやや多いという程度。年齢は 60 歳代以上が 60%以上で、高齢者の意向が強い結果となっている。</p> <p>回収率は 32.6%で皆さん「低い」と思うかもしれないが、統計的に見るとこの数字は妥当な数字であるのかなという感じである。50%近くあれば一番良いのかもしれないが。他にはいかがか？</p>
委員	<p>協議の第 1 項は、今日初めて資料を見たので、意見をと言われても皆さん戸惑っている。次に進んでももらいたい。</p>
議長	<p>アンケートについて感想ないしは要望があれば、また事務局まで出してもらえればと思う。</p>
(2)「ドリームのうみ」備船について	
事務局	<p>－資料 2-1, 2-2, 2-3 により説明－</p>

議 長	只今、事務局から報告があった。これについて何か意見はないか。平成 24 年の見込み、それから平成 25 年の見込みが、資料 2-1 に掲載されている。
委 員	事務局から報告があったのだが、運営している会社の意見も聞いてみないといけないのではないか。
議 長	事業者の意見を伺ったらどうかという意見であるが、いかがか。
オブザーバー	現在、燃料費が非常に高騰しており、非常に厳しい状況でやっているの、引き続き現行の傭船料でお願いできればと思っている。
議 長	燃料費が非常に厳しいという中で、更に経営を続けていきたいということであった。他にはないか。 それでは、ドリームのうみ傭船については、当協議会においては承認いただいたということで進めさせていただく。
(3) 子供乗船料無料化社会実験について (市外からのフェリー利用促進)	
事 務 局	－資料 3 により説明－
議 長	無料期間が限定されているが、学校の夏休み期間ということで 7 月 20 日から 8 月 31 日までの間、子供、特にこの場合は地域外ということで、航路利用を促進するために子供料金の無料ということで社会実験をするということである。この試みについて何か意見はないか。
委 員	今の説明では、島の外から来られる方は、午前中は (運賃が) いらぬが午後から来られる方はいるということか。
事 務 局	そうなる。
委 員	その判断はどうなのか。1 泊旅行で来られる方で、昼から来られる場合、その線はどのように引かれるのか。
事 務 局	そういった方もいるかもしれないが、どこかで線を引かないといけない。乗られる時に全部住所を確認すると大変な手間がかかるため、そういったところは線を引いて、基本的には午前中出て来られる方を対象とする。 1 泊される方は午前中にすぐ帰られるのではなくて、少し島内で金を使ってもらって、午後の便で帰ってもらえればと思っている。
委 員	なかなかその線は難しいが、こういうふうにいけば良いと思う。
委 員	子供の定義は何歳からになるのか。
事 務 局	船の子供料金が対象なので、小学生までである。
議 長	中学生からは有料ということである。
委 員	無料期間が 7 月 20 日から 8 月 31 日まで、夏休み期間中ということでは理解できる。これは車を船に載せた時と聞いたが、観光協会がこの島へ自転車でもらえるよういろいろやっているのだが、この島で

	<p>サイクリングをしたいという方に対して観光協会とタイアップしたらどうだろうか。車を載せるだけではなくて、フェリーから下船して、そこから自転車で途中の港まで行って帰ることもできるし。</p> <p>先ほどの小学生の定義は小学校 6 年生までか、下はどこまでか、というのを決めて。ただ、車で乗船されてそこに乗っている子供だけ対象となれば、数は少ないのではないか。そのためにいろいろアピールするといっても、結局無駄じゃないのかなと思う。そこまで利用される方がいるのか。だから車に乗らなくても、とにかくこちらの航路に乗ってもらって、親子で来て 2 人ほどのお子さんは無料で、という方が良いのではないかなと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>対象を可能な限り広げた方が当然効果も高いと思うし、良いと思うが、今回車を対象としてやってみようと思ったのが、今日は陸上の話もしたが、江田島市に来る場合、バス等の公共交通機関もなかなか使い勝手が悪いという中で、そこまで需要が見込めないのではないかなというので、マイカーということをやってみてはと考えた。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局の説明を聞いていて、本当にこれをやってもこれだけの需要があるのかなと思う。もっと違った方面・角度から見た方が良いのではないかな。車で来られる方が果たしてどれくらいいるか。そりゃ子供さんが無料ならば助かるが、もっと深い所を見た方が良いのではないかなと思うが、いかがだろうか。</p>
<p>委員</p>	<p>全国旅客船協会の観光部会というのが今回できたが、やはり全国的に「船離れ」が進んでいる。船に乗るとのことと、船に乗って行く島に渡って楽しむという、両方の側面がある。</p> <p>昨年の夏に、その前から 3 年間やっていたのだが、ナイトクルーズと言って、島へ来る船に乗ってそのまま降りずに広島なり呉なりに戻ってくる、こういう片道 30 分程度の航路を 1 時間そのまま船に乗ることを楽しんでもらうというのを夜にやってみて、かなり観光客の皆さんに支持を得ることができた。そういう意味では「乗る」ということを楽しんでもらう試みである。</p> <p>船に乗ってきて、じゃあ行った先で何をするのかということ、セットで考えるべきだと思う。船の中でいろいろイベントをやるのももちろんだが、今おっしゃられたようなこの島の中での活動を、今、島では体験学習にも取り組まれているし、例えば商業施設・公共施設でもお子さんにこういうふうなメリットをつけるとか、そういうものと船の代金がこうなるというものをトータルで考えて、お子さんが来ることによって親もついてきて、島でお金を使ってもらって、そのための一部分のきっかけが船の料金という位置付けにした方が良いと思う。</p> <p>だから、今言われたような、島の中のいろんな観光施設と同時に、やはり利用料金で大人子供というのもあると思うが、それも含めた形</p>

	<p>でPRあるいか企画を考えてもらうという方向が良いのではないかと。 これは地区の旅客船協会ともやり取りをされていると思うのだが、 そういう意味では観光協会とも一緒になって、夏休みの間、島に行こうと、その一つのきっかけとして船も優遇しているし、江田島市の中のいろんな活動を行うにもメリットがあるというのをセットにしてやるというのが良いのではないかと思う。 旅客船協会の方でも夏休みに、全国の観光要素の高い船でお子さんの料金を例えばタダにするとか、そういう形で実験を全国的にやってみようという動きもある。そういうところとの足並みを揃えるというのも手であるし、その辺の全国的な動きについては情報が入れば出したと思う。そういう方向でいくと効果も高いのではないかと思う。</p>
<p>議 長</p>	<p>ただ今、子供乗船料を無料化するという社会実験について、委員から言ってもらった。先ほどの委員からも観光協会との連携ということでご意見があったが、いかがであろうか。何かご意見をたまわりたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>要はこの島にたくさん来ていただきたいということと、子供の運賃を下げたから船にたくさん乗ってもらえるという安易な考えでは、なかなか成功しにくいと思う。 例えば夏休みには、こちらにはお寺さんがたくさんあって、お寺の本堂に泊まるというのを今年度やったのだが、これは保護者もお出でになったし、朝起きて本堂の清掃から始まり、カヌー体験もしながら盛りだくさんの内容だったが、そういった形で島の魅力をどんどん発信し続けて、船に乗っておいでというふうな総合的なものをやはり深く考えてやらないと難しいと思う。 これは江田島汽船にやってもらっているが、先ほどの月 50 万円、これはまた元に戻って申し訳ないが、償却費に充てられないということで市の方から 600 万円補てんするという案だが、大変厳しいことは我々も良く感じている。何とかペイするように、せっかくフェリーは三高へ集約したわけだから、もう少しフェリーの魅力をアップすることと、やはり江田島市へ行くのはフェリーだというような仕掛けを皆で考えていかないと、どうしても今度新しく第二音戸大橋ができて、向こうの方が速くなるので、大変厳しいのではないかと感じている。 観光協会としても、いろんなことをこれからまた検討して、徐々に江田島市の知名度も上がってきているので、もっともっと来ていただけるように。先ほどどなたかが言われていたが、あそこへ行くと何が楽しいのか、何があるのかといったところを、もう少し掘り下げてどんどん発信しなければいけないなと感じている。いずれにしても、船と地元とが共に手をつないで、頑張っていかなければいけないと感じている。</p>

<p>議 長</p>	<p>観光協会としても、市と連携して、今後子供乗船の無料化ということだけではなく様々な試みをしていきたいというご意見であった。</p> <p>(5)のところで、船内イベントの検討ということで例を 3 つほど挙げているが、こういった事例もあるし、その他のこともいろいろ検討されることだろうと思う。特に最後の「ボランティアガイドによる観光案内」というのは、小学生や中学生が参加してボランティアガイドをやってみるというのも一つの試みだと思し、いずれにしても今後そういった様々な内容については、市と皆さんとが連携してやっていくことが大事ではないかと思う。他に何かご意見はないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>無料化の対象になる方がどれくらいいたかというデータの収集はどのようにするのか。無料券か何かを出すのか。何人が利用されたかというのが、大人が切符を買った時に割引になるのか、それにしても大人が乗ったところで子供が 2 人なり 3 人なり乗られたときに、何人利用されたかというのをどのように把握するのか。</p> <p>要はこういう行為をした後、評価する方法をしっかりとっておかないと、40 日済んで結果どうだったのかというときに、さあ何人乗ったのかねということでは、せっかくやられたことが、観光協会の自動販売機のジュースがたくさん売れたというのであれば良いのだけれど、何かそういうものがなければ。</p> <p>もうちょっと全体的に細目を、今日提案を受けて、あれはどうなるのかこれはどうなるのか、各委員も心配されているようなところを、もう 1 回整理した方が良いでしょう。もし万が一何か事故があっても、あれは無料だから対象外ということになるのか、船舶法ではそういうことはないだろうが、そういったようなところを、もうちょっと細目を詰めた方が良いでしょう。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>利用者数をどういうふうに把握するかということについて、最初の話の中では券の回収というものもあったのだが、正直そういうことになると事業者の負担が……という話もあったりして、まだそこは詰めているところである。</p> <p>ただ、おっしゃられるように、そのデータが取れないと社会実験の意味がないので、そこはしっかりとさせてもらいたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>これに関連することだが、島は海に囲まれているわけで、以前沖美町でも、がんね海水浴場が繁盛していて、芸備商船もそれで繁栄していたときがあると思う。</p> <p>今、広島市周辺でも、狩留家と坂の海水浴場がしっかりできて、そこで止まる例があるのだが、もう一度島を、海を活用したリゾート・レジャー、あるいはそうしたものをもう少し検討してみる必要があるのではないかと思う。がんね海水浴場が駄目になったのは、お客さんが少ないからというのではなくて、あの当時は鮫の騒動があった。そ</p>

	<p>れから台風 19 号で手痛い被害を受けた, その 2 つの大きな理由で再開が難しくなったのではないかと思う。</p> <p>もう 1 度島周りの海のことに関してしっかり検討して, 良い方法がないか考えたら, また良い案が出るのではないか。そのことが結果的に船を利用する人が増えてくる, そうなれば子供さんが島にしっかりとやってくることも考えられるので, 島の海はもうこれで良いという考えではないとは思うのだが, 再確認して, もう 1 度考えてもらえたら良いかと思う。</p>
<p>議 長</p>	<p>ともあれ, この乗船料無料化というのは, 利用者数の把握をしながら今ご指摘のような意義というところをしっかりと押さえておく必要があるということで, それは当然であろうと思うので, その点について事務局で良くご検討いただいて, この社会実験が成功裏に終わるように, 準備万端よろしくお願ひしたい。まだ時間もあるのでその点を十分に, 検討を加えていただければと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>社会実験で予算を使うわけだけれども, 社会実験でお金を使う前に, まずその現場である船の船員さんをはじめとして, 今日は野原先生もこちらへ船でお出でになって, 大変愛想が良い船員さんで感激されたと言われたが, 快適な船であったり, 船員さんの教育・マナーであったり, これがものすごく大事だと思う。ここのところができていないと, 少々子供料金を無料にするくらいでは駄目だと思う。また, 船に乗っている方も, 船乗りとして海の男として, 自分たちの生命線を自分たちで守っているんだという生きがいと誇りをしっかりと持っていていただいて, この江田島航路はどの船も素晴らしいなど, これが中国地方・全国に津々浦々まで行くくらいのことになれば, これだけで大成功になると思う。</p> <p>お互い, 皆それぞれ一生懸命真剣に生きているわけだから。私どもの孫も今度広島へ通学するし, 毎朝 6 時に起きて広島へ稼ぎに出てこちらへ金を持って帰ってもらっている方もたくさんいらっしゃるが, この人たちの足であることも現実である。</p> <p>そういうことでやはり皆, 本気で自分の仕事に誇りを持って, それぞれ江田島航路はどの船も良いと, これは金がかからないわけだから, 皆さんがその気になってやればむしろ働く人たちも楽しくなる。素晴らしい航路に仕上げていただくように, 江田島市の企業局にもお願ひする。そして民間の船会社さんにも是非この島をお願ひしたい。それが先ではないかと思う。</p>
<p>議 長</p>	<p>今, 委員がご指摘のとおり, 事業者の方々, そして船に乗っておられる方々も, 意識を持って取り組んでもらいたいということで, それでまた江田島市の発展につながるということで, よろしくお願ひしたい。</p>

	<p>それでは、他に何か意見はないか。無ければ次に報告事項に移させてもらう。</p> <p>社会実験は 7 月から 8 月にかけて執り行う、内容についてはまた皆さんにご相談しながら進めさせていただくということで、ご承認いただけるということでよろしいか。それでは内容については皆さんに相談するので、よろしくお願ひしたい。</p>
5 報 告	
西能美航路の再々編の協議の進め方について	
事 務 局	－資料 4 により説明－
議 長	<p>全体の流れというものについて、特に平成 25 年度以降の事柄について、スケジュールがこのような海上分科会での検討を踏まえた形で、この公共交通協議会で詰めていきたいと、こういうことである。</p> <p>これについて何かご意見はないか。</p>
委 員	<p>江田島市にとって海上交通は生命線であるので、何はさておいても地域を守るために市当局もできるだけ守ってもらいたいと思う。</p> <p>今日は各船会社の皆さんもお出でになっけていても、意見が出にくいということはどこに原因があるのか。この公共交通協議会を今後運営する上で、意見が出る場にしてもらいたいと思う。</p> <p>それと、委員も各代表が出られているが、各委員が素直に意見を出せばそれが江田島市のためにもなるし、また事業者のためにもなる。</p> <p>特に公共交通協議会がこうありましたからという事後報告ではなく、市議会も議員は 20 名おられるわけだから、議会ともよく協議した中で、またこの協議会にも事務局から提案してもらいたい。</p>
議 長	<p>意見が出にくいのではないかというご意見もあったが、皆さん是非積極的なご意見をたまわりたいと思う。というのも、この陸上交通もさりながら、海上交通は非常に重要な交通手段であり、江田島市の発展にとって欠かすことのできない交通手段であるので、ぜひご意見をたまわりたい。</p>
委 員	<p>今、委員の方からご意見があったが、全くその通りだと思う。海上交通の事業者の方も、自分の意見を包み隠さずに言えばよい。自治会や市議の方も言っけて、そこでぶつかり合っけて、そこで野原先生が調整されれば良い。隠しながらやるような形で、言いたいことを言わないというのではなくて。</p> <p>公共交通協議会に何回か出席させてもらったが、本音を言わない。日本人の美德なのか分からないが。やるに当たっけて、言っけての方が良いのではないか。また、地域の方も思いがまた違っけて。江田島市になっけても、能美町・沖美町・大柿町・江田島町で全部市民の考え方が違っけて。江田島市の市民として考えてとなるとちよっけてと温度差がある。だから</p>

	<p>こそはっきりと言った方が良い。</p>
委員	<p>その他のところで言わせてもらおうと思っていたが、委員からご意見が出たので言わせてもらう。</p> <p>事務局へお願いだが、今日ここに来てこの資料を見て「どう思われますか、意見を言ってください。」と言われても、私だけかも分からないが意見が浮かばない。こういう資料は前もって委員に送って、予習をして来ればここでどンドンと意見が出るのではなかろうか。たくさん私は言いたいことがあるのだが、この資料に従って言えないというのか、目が行き届かない。</p> <p>たいていどういう会議があっても、事前にこういった資料を委員に配付してくれる委員会が多い。ここの委員会はそうではなかったのか。こういう資料を前もって委員に送ってもらえれば、必ず皆さんが目を通してきて、ここはいかがなものかというところの意見がどしどしと出るのではないか。意見が出ずに、帰ってから「あれ、しまった。」ということがたくさんある。事務局に考えていただきたい。</p>
議長	<p>資料を少なくとも 1 週間前くらいには委員の皆さんの手元に届くような形でお送りしてもらおうということは、当然内容もよく分かるので、そういう方向で是非。事務局も忙しいとは思いますが、ひとつ間に合うところで結構だが、出してもらおうようにお願いしたい。</p>
委員	<p>本音で言えというので、本音で申し上げるが、これは考えられている人がたくさんいる。</p> <p>まず、高速艇片道 930 円、往復で 1,860 円だが、これではなかなか広島へ通勤できない。江田島市は人口が恐ろしいほど減っており、自分たちの生業にも直接影響を感じている。何とかここへ踏みとどまって残ってもらいたい。残るためにはやはり広島へ通勤ができて、金を稼いで帰れるという地域にしなくては、これはこのままどンドン減ると思う。</p> <p>(運賃が) 半額になれば、ここへ住んで広島へ稼ぎに行かれる、そして広島で渋滞に遭わなくても、間違いなく 30 分くらいで宇品に行けるということになれば、広島市におられる方も「空気が良いし、こちらに住もうか。」という人がいるかもしれない。そういったことをやることによって金が足らなければ、国やいろんなところへ行って、2 億や 3 億という金をもらって帰って、そのことがとりもおさずこの島が存続できて、しかも人口が増えていって、財政もやっつけられるようになるという逆療法も考えられるのではないか。それくらいのかなり大胆な発想でもって動かないと、机上の空論でただ数字をどうだこうだと細かいことを言ったところで、あまり意味がない気がする。</p> <p>いずれにしても、どうやって守るかということを考えると、いろん</p>

	<p>な角度でいろんな知恵を出さなければ、なかなかうまくいかないという気がしている。是非国から毎年 3 億か 5 億くらい持って帰るようなことを、ひとつお願いしたい。それで「江田島市は良い所だ。広島へ船通勤できて、学校も船で行けるし、しかも安価にあがる。日本一良い所だ。」と。そしてフェリーもうんと安くすれば、何も陸をまわらなくても、宇品へさっと行ける。トラック業者からもたくさん意見を聞いている。安くしてくれれば乗るのだが……という人もたくさんいる。逆の発想もそろそろ必要ではないかと感じている。</p>
<p>議 長</p>	<p>今日は雪の関係でクレアラインが通行止めだったもので、高速船に乗ってきたのだが、大変高くて 930 円ということでビックリした。もう少し気楽に広島市と往復できるという委員の意見は全くそのとおりでと思う。そういったことについて、もう少し安くできないかというような工夫が、これからの協議会で必要かなと思っている。</p>
<p>会 長</p>	<p>江田島市に関係のあることについて質問があった。</p> <p>1 点は議会との関係を大切にしようというご指摘があった。ご承知のように、議会の代表に協議会に入らせていただいている。途中から規約改正し、議会代表を入れるようにということで、議会の皆さんの意見も反映できるように。更には全員協議会でも逐次報告しながら進めてきているので、法定協だけが突っ走っている状況ではないということをご理解いただきたい。</p> <p>それから、国の方からたくさん金をとってくるようにとあった。それだと非常に解決は早いですが、法定協では地域の実態をしっかりと見ていただいて、将来展望に立って、どうしたら江田島市の航路が守れるのか、守り育て確保していくということを真剣に考えている時期なので、そのためには確かに国の方からも一定の支援を頂きたいということは繰り返しお願いをしてくれている。あるいは県の方にもお願いしている。交通基本法が一時テーブルに乗った時にはそれなりの期待もあったが、今は少しなし崩し的になっている。とは言いながら、市民の移動手段は守らなくてははいけない。</p> <p>交通船も過去合併以後、様々な改善と工夫を繰り返してきた。江田島市も 1 億という金を真水で補てんするという事は、我々も江田島市の財政状況から言うと身の丈に応じたような財政支援ではないと思うが、精一杯のことをやってきた。しかしまだこれでずっと継続する、もう既に 10 年近く経つので、いろいろ工夫してきた。フェリーの特化・高速船の特化でお互いに win-win の関係になるだろうということで試算したが、結果は非常に難しい。どちらもジリ貧であるといったときに、もう交通船と民間航路事業者が、お互いに力を合わせて、そして航路を守っていく知恵を出していく、そういう時期に来ていると考えている。そのための今回の提案なので、ひとつ皆さんの知</p>

	<p>恵を借りたいと、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>結局最後は、どこがお金を出すのかという話になるのかなと感じた。お金を出すということになると、要は市民が賛成しないと出てこないで、そこは本当に、それこそ先ほどから出てきているように「腹を割って話をする」ということだと思う。</p> <p>委員が言われたことというのは、たぶん誰もが何となくこうやってやったらいけそうだとすることで考えることかと思うのだが、例えばそういうことをやろうと思った時に、どれくらいの金がいって、それからどれくらい見込みがあるのかということは、たぶん調査をされたことはないだろうと思う。それはそれで一度やってみても良いかもしれないと思うけれど、そうは言いながら一方では、現実的な話の中でなかなか難しいところもあるということになれば、言葉は悪いかもしいれないが延命措置という形に皆さん感じられているのかなと思う。その中で少しでも効率的なやり方ということを考えざるを得ないのかなというところ、その両方のバランスを考えながらやっていかなければならない。</p> <p>大崎上島町の島の方たちに聞くと、悪口ではないのだが、航路事業者の方やバス事業者の方はコテンパンである。たぶんそういうふうに使われている方が同じように多いのではないかと何となく想像する。確かに、実際にどうかというのは私も詳しく調べたことはないのですが、ただやはりそうは言いながら、雇用を生んでいるのは事実だと思う。すごく大きな雇用だと思う。だから簡単によそから事業者を持ってきて、効率的にやってもらうのが良いかと言うと、それはどうかと一方では思う。</p> <p>先ほどのお話の中で、江田島市の航路というのは江田島市の人たちのためにあるという生きがいを持ってやってもらいたいということがあったが、まさにそういう意味では、江田島市の市民の方が一生懸命やって、そこに事業所があって雇用を生んでいるということもすごく大事なことだと思う。一方でそう言いながら効率性というのはどうしても議論をしなければいけないと思うのだが、その辺は皆さん、雇用を生んでいるということも考えながら、ちょっと温かい目と言えと言過ぎかもしれないが、そういう目で見ていただきながら。</p> <p>江田島バスの方は、結構良くやられていると思う。いろいろアイデアも出されているのかなと私は思う。もちろん、それが市民の方にとってまだ不満があるのは当然で、これからもっともっと良くするためにここで議論をすることが大事だと思うのだが。そういった事業所側から見ると、雇用を生んでいるということを含めて議論しないと、とにかく効率性だけでよそから連れてきてやってもらえば良いという</p>

	<p>話到最后になってしまうと、本当にそれで良いのかなというの、すごく怖いと思う。</p> <p>このアンケートを見て非常に残念だったのは、これ以上お金を出さない方が良いという意見が多かったこと。なので、今ここで話しされていることとは、たぶん市民は違うことを考えられている可能性は高い。先ほどの委員の話は、このアンケートを信ずれば、たぶんその話は出てこない。そういう意見を立ち上げるのはすごく大事で、そういう意見を出すことが活性化につながる場所があると思うので、それはそれこそコンサルタント会社の方もおられるので、そういうものをやってもらえないかという話があっても良いかなと思う。なので、その辺を考えながらやってもらいたい。私も、もしそういうのをやるというのであれば、協力できる場所は協力したい。</p>
議長	<p>特にアンケートの中身について、更に突っ込んだご意見はないか。</p>
委員	<p>アンケートのことで言うと、いろんな要求は要求で、例えば運行便数を増やせばいいとか、フェリーとのつながりが悪いとかいうことがあった。そういう意見は分かるのだが、ユーザーから考えると絶対便数が多くて料金が安くて、できることならタダで乗せてくれという話になるのだろうが、バス会社から言わせると、赤字のところを便数を増やせばもっと赤字が増えるだけで、だったら誰がその責任を持つのかという話。だからそういうところを考えて、これからは調査をされたらどうかと思う。</p> <p>やはり何か良くなるということになればどこかが悪くなる、トレードオフがあると思う。それは今こういう時代に、日本全体が上り調子ということではないのだから、どうしても正のところがあれば負のところがある。だから負のどこを享受して正のどこを取るかということが、一番の議論だろうと思う。だからそういった調査を、今は今で良いと思うが、ポイントポイントではやったらどうかと思う。</p>
議長	<p>アンケートを参考にしながら、しかし将来に向かっては、アンケートの内容についても更に検討し直してみるべきということである。他に何か意見はないか。</p>
委員	<p>お金がないのは分かっている。そのために皆、小さくまとまったというか。</p> <p>皆さんで攻撃に移りましょう。市民で、皆さんで変わりましょう。呉から広島へ行くのは 560 円の電車賃だが、船の料金を下げて 500 円で高速船を走らせて。その時の財源をどうするのかと言えば、それは私には分からない。でも何か変わってやらなければいけない。市の交通局ができないのなら、民間事業者任せなければしょうがない。ただその言葉で皆、黙っていると思うのだが、市の交通局を残したいだ</p>

	<p>とか、いろんな意見があると思うが、でも現実にはそういうことは言っていない。</p> <p>この島は 5 万 3 千人いた島なのだが、今は 2 万 6 千人、半分である。今まで市民の皆さんが言っていることは 5 万 3 千人いたときの要望である。それを今、2 万 6 千人の中でどういうふうにやろうかということ、まだ皆分かっていないのかなと思う。ドラマチックに変えてもらった方がいいのではないかな。</p> <p>公共交通協議会で話すのは毎回同じようなことで、全然前に進んでいない。ただ事務局に任せて、先生が来て話すだけであって、全然変わらない。これは大変なことだと思う。でも、何か変わらなければいけないのだから、どうしたらいいのかということをもっと皆さんで知恵を出してやったらいいのではないかな。何とかして皆さんで一本の道、方向に向かっていけば良いと思う。そうでないと何回この協議会をやっても一緒だと思う。とにかく 2 万 6 千人の人口の中で、増やしたいのは分かるが増えない、だからこれ、今までずっと話を聞いても、堂々巡りでまた同じことをして、次の次の回に知恵を出そうというのと一緒だから、もっと本当に変わって、無理なことにチャレンジしてみたら良いのではないかな。これでどうなるのか、皆が血の出るような苦しみを味わうのかどうなるのか、しかしこれをやる事によって江田島市は、全国に江田島市はすごいなということが分かるので。何かやってみよう。</p>
<p>議 長</p>	<p>おっしゃるとおりである。できれば、この江田島市をどういう方向へ向けていけば良いのか、具体的な方策を是非出していただきたいと思う。次回が 4 月になるので、それまでには皆さんから積極的にこの江田島市発展のための何かアイデアがあれば、是非聞かせていただきたいと思う。今ご指摘のように、確かにこの協議会、いろいろ議論されてきたわけだが、更に詰めて前進できるような、そういうアイデアがあれば是非出していただきたい。</p> <p>先程、ボランティアガイドで小学生など良いのではないかと申し上げたが、簡単なことではなく、では小学生を動かすにはどうしたら良いか、教育委員会とどう連携していけば良いかというのは、大変難しい問題である。総合学習が今までやられてきたのだが、この総合学習も文科省で見直しがかかっており、総合学習をどうするかということが議論されている。そういう中で、自分たちの郷土に誇りを持つような、そういう歴史的・文化的な史料を掘り起こしてガイドできるような人材を育成していこうではないかというアイデアも、もちろんこれからの議論であるが、そういうアイデアもある。したがって、皆さんでこの協議会を盛り上げるためにも、議論を更に進めていただきたいと思う。</p>

6 その他	
議 長	その他のところで、言い残したところで、何かご意見はないか。 それでは第 3 回江田島市公共交通協議会をこれで閉じさせてもら う。次回、更なる議論を活発に取り交わせるように期待する。
7 閉 会	